

小型スターターで バッテリー上がり対策を。

雨の日、ワイパー、オーディオ、エアコンなどの電装品で、バッテリーは酷使されている。エアコンが付いていなければいいのだが、少し古めなエアコンだと、電力消費も激しい。ましてや、普段あまり乗らない車は、放電のため、バッテリーの電圧が下がっている。そして、最後にはとうとうセルモーターを回せなくなってしまうのだ。

そんな時、すぐに思いつくのがジャンプコードだろう。しかし、ジャンプコードはサポート車ももう1台必要。車がほとんど通らない所で、バッテリーが上がってしまったら、なすすべがない。そこで、小型のスターターを準備しておくと便利だ。

小型スターターはバッテリーのようなモノだが、放電率が非常に低く、セルモーターを回すだけの電力を発生させることができる優れもの。酒井重工業から発売されたPB・1200Gは、165×165×95cmというコンパクトサイズ。4000cc以下のガソリンエンジンであれば、だいたいの車でエンジン始動可能。また、常時充電の不要なバッテリーを使用することによって、6カ月以上放置しても、セルモーターを回せるだけの電力を

保持している。仕様は重さ2.5kg、バッテリー容量5Ah、出力電圧12V。価格はオープン価格で、同社のネット販売では2万6040円。

■問い合わせ先／酒井重工業 〒349・112
5 埼玉県北葛飾郡栗橋町高柳2500
120・1224・93
<http://www.sakainet.co.jp/starter/>



コンパクトながらパワフルなスターター